

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言～

平成31年1月15日(火) No.46
発行人

スキー教室いいなあ～。スキーは大好きです。の川崎先生。

◇三学期早々の雑感9連発◇

・1月8日始業式の日、年が明けて初めて出会う子どもたち。心なしか顔が晴れやかだ。きっと良い冬休み、充実した正月を過ごしたのだろう。朝のあいさつが元気なのは言うまでもないけど、「校長先生、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いします」と、小さな子どもたちに次々と頭を下げられると、これだけで今年が良い年になると思ってしまう。きっとこの子どもたちは、家族で同じようにあいさつを交わしているんだろうな。なんかジーンと来るなあ。

・そしてジャンケンも相変わらず。新年早々、川崎に負けていいのかい?と思うけど、負けても笑顔な子どもたちに毎日癒される。ある女の子に3日続けて負けた。「校長先生はいつもグーを出す」そうです。へへっ、次はそうはいかないぞ(-.-)y° ° °

・始業式。司会の時田tの「立ってください」の声に反応して、すっと立つ全校児童。そして「前へならえ」の号令にも、シャキッと手を伸ばし、「なおれ」の声に、パシッと音を立てて腕が戻る。このキレッキレの動作。川崎の心の中の声「ふえ～、すごいっ!」。

・始業式での川崎の話は、大きな声を出すと手術痕が痛いので、紙に印刷したものをみんなに読んでもらった。これをごく自然に大きな声で読んでくれる西小の子どもたち。なんとうれしいことか(^_^)v。今年のテーマは「元気!健康!」。やはり人間これが大事。何をするにも元気で健康であれば、きょううまくいく。実感実感。

・緑の広場にはまだ落ち葉がたくさん。川崎はこの担当なので、給食が終わった掃除の時間には落ち葉を掃きに行く。川崎の方が早く給食が終わるので先に掃いていると、担当の3年生がその姿を見つけて駆けてくる。ささいな事かもしれないけれど、「先に掃除している人がいるから自分もしなくては」という“責任感”というか“やさしさ”というか、こういう姿にも“ほんわか”してしまう年頃の川崎です。

・5,6年生がスキー教室に行っている。すると、玄関付近の掃除を6年生に代わって4年生がしている。玄関は学校を訪れる人が最初に通る場所。ここが掃除してあるとないとでは、学校の印象が大きく変わる。だから今日は4年生がやってくれたんだね。なんか、いいなあ、こういうのって。持ちつ持たれつ。西小はやっぱり大きな家族。

・給食が終わってグラウンドを見ると、2年生が大勢集まっている。何かと思ったら女の子がテキパキと仕切ってドッチボールを始めた。早く給食を準備をして、しっかり食べて、そしてみんなが集まってドッチボール。2年生成長したねえ～\(^o^)/

・朝、いつもハイタッチをする男の子。両手に荷物を持っていても、その荷物を持ちかえてハイタッチしてくれる。うれしー。川崎に付き合ってくれてありがとう<m(_)_m>

・西小の先生たちって、本当にみんな協力し合う。始業式の午後、体育館やPCルームにあった廃棄物を、全員がさっと集まってあっという間に方つけてしまう。これまでもずっとそうだったように、これからもきっと同じ。ムカデ競争とかやったらきっと速いに違いない。〇×クイズだと、全員が同じ方へ行って一発で負けそうだけど(^_^)